

## 医療・介護等分野ロボット実用化ワーキンググループ 平成30年度 取組計画(案)



愛知県では、産学行政が連携しロボットの新技术・新製品を創出し続け、この地域を世界に誇るロボット産業拠点として発展させることを目指し、平成26年11月に「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を設立しました。また、ロボットの開発側と利用側の双方が参画し、医療・介護の現場や生活の場で活用するロボットの開発・実用化を促進するために、国立長寿医療研究センターの鳥羽研二理事長を座長として「医療・介護等分野ロボット実用化ワーキンググループ」を立ち上げ、活動して参りました。

今年度は、本日開催の第9回のほか、以下の2回の開催を予定しています。開催日時や講演内容等の詳細が決まりましたら改めて御案内いたします。

### (1) 第10回ワーキンググループ

- 時期 平成30年9月～10月頃
- 場所 県内介護施設または、国立長寿医療研究センター
- テーマ 見守りセンサー
- 内容 ①研究開発事例発表  
②活用事例発表  
③見守り支援センサーの活用についてのワークショップ

### (2) 第11回ワーキンググループ

- 時期 平成30年12月～平成31年1月頃
- 場所 県内介護施設または、国立長寿医療研究センター
- テーマ ベッド・移動支援ロボット
- 内容 ①研究開発事例発表  
②活用事例発表  
③ベッド・移動支援ロボットの活用についてのワークショップ